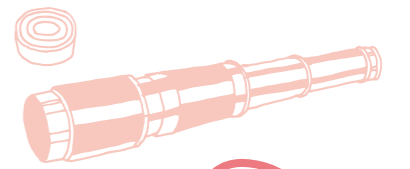


知りたいこと

望むこと

望むこと



どうなった? 障がい児の放課後預かり

平成23年度開設予定

■問

平成21年9月議会で質問した障がい福祉計画の障がい児放課後預かり事業対策については、平成23年度までには創設したとの回答でした。

実施の見通しは。

予算・対象者の特定・人数・実施場所・スタッフ確保など、具体的な実施計画は。

幼稚園は、午後3時で園児が帰宅しますが、幼稚園を活用し実施しては。

■答 吉松健康福祉課長

平成22年度に計画、平成23年度に開設予定です。国県の補助金を利用して、知的障がい・身体障がい・発達障がいも支援できるのではないかと考えています。

ただ、人数は制限があると思われる。

実施場所につきましては、人数や障がい種別などを検討し決定していかなければいけないと考えています。

■答 中嶋町長

発達障がいがある方については、病気を治して



今村 桂子 議員

いくというスタンスが正しいと思います。最初は知的障がい者の放課後預かりから出発していきたいと思っています。また、対象者が一時預かりを希望されるか否かの調査が基本になります。今後は、施設・送迎・スタッフの問題を検討しながら、平成23年度からは知的、身体等を中心として出発し、預ける人が少なければ、発達障がい等も徐々に入れていきたいと思っています。今の段階では、保護者の負担軽減から出発し、最終的には発達障がい者の病理的回復を願うという専門職まで入れた発達障がいの一時的預かりまで進めていきたいと思っています。

行政施設と庁舎の節電意識は 今後のLED市場価格の推移を見ながら対応

■問

近年、地球温暖化防止対策、とりわけ二酸化炭素排出削減対策として、省エネルギーの必要性が強調されていますが、本町においてもいろいろな対策に取り組まれていると思います。

すぐにできる省エネ対策で、行政施設・庁舎内の照明器具、管球電球等の取り替えを検討され、省エネルギー対策の実施に役立っていただけただけならどうでしょうか。



LEDが検討されている庁舎蛍光灯

■答 中嶋町長

経費の節減と節電による温暖化対策の問題とされています。

庁舎内の光熱費削減の取り組みは、朝礼後の点灯、トイレの利用時間外



須恵町障がい福祉計画

の消灯、廊下照明の半分消灯、退庁時のブラインド使用などを行っています。このような取り組みにより、5年間で約160万円の節約ができました。LEDにつきましては、低電力、高感度、長寿命など利点がある反面、照射角度により周辺照度の不足、ソケット部分の対応、商品規格の不明確さ等の問題もあります。現在の蛍光灯をLEDに換えた場合のシミュレーションを行ったところ、現在使用している蛍光灯をLEDに換え10年以上使用すると、初期導入費用をペイする前に寿命を迎え、現在の安価な蛍光灯を使用するほうが経費削減効果はあると思われます。

今後のLEDの市場価格の推移を見ながら、経済的、環境的な問題を考慮したいと思っています。



原野 敏彦 議員